

成果指標				
成果指標	独居高齢者に対する設置割合(設置件数/独居高齢者数(%))			
指標設定の考え方	設置が必要であると判断される独居高齢者の把握に努め、効果的に支援体制を確保するため、緊急通報装置の設置割合を高める。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	15.2%	25%	0	0
実績	27.3%	29.6%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	A
		成果向上の可能性	5	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	警備保障会社等への委託事業である。平時の際の安否確認や緊急時の通報が適切に行われており、その成果は大きい。ただ、認知症高齢者が誤報したり、操作が分からず活用されなかったりと、緊急通報体制整備だけでは高齢者の安全確保が困難な場合もあり、安否確認見守り事業等、他の事業とも連携・補完を行い、総合的に高齢者の安全確保に努めたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	5	A
		成果向上の可能性	5	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	警備保障会社等への委託事業であり利用者が地域で安心して暮らせるなど事業効果が大きく今後も継続する必要がある。他事業と合わせて高齢者の見守りを進めていきたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	